

令和4年度 指定管理者モニタリング報告書

施設名	加東市産地形成等促進施設・道の駅とうじょう
施設所在地	加東市南山1丁目5番地3
指定管理者	名称 株式会社 夢街人とうじょう 代表者 D氏 住所 加東市南山1丁目5番地3
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載した。
担当課	産業振興部 商工観光課 電話 0795-43-0530 担当者氏名 竹内 誠彦・小谷 寿輝

1 総合コメント

施設内は清掃が行き届いており、適切に管理されている。利用者アンケートの結果からも、スタッフの顧客対応や、事業及び施設管理の内容について支持する声が大半であり、全体として良好な運営がなされている。

特産館は、新規仕入先の開拓や山田錦を原料とした酒類販売の強化により、対前年度比118.8%の売り上げを達成した。

農産物直売所は、いちご、ぶどう、桃の果物類の売り上げが好調であった。特に桃は近年稀にみる豊作となり、桃の売り上げが増加するなど農産物直売所の売り上げは概ね計画通りとなった。

コンビニは、利益率の高い新商品をより多く陳列する、売り逃しの少ない精度の高い売り場づくり、廃棄率の抑制等に努めた結果、売り上げは対前年度比115.5%と大きく伸ばすことができた。

これらの結果、新型コロナウイルスの影響が残る中での営業であったが、経常利益14,181千円と黒字を達成した。

また、市内利用者が約4割であるという回答からも、当該施設は地元生産者と地域の顧客から支持される傾向となり、設置目的である地場産品の流通を通じた地域活性化を実現している。今後とも適切な指定管理業務を遂行していただきたい。

2 今後の改善に向けた考え方

特産館、農産物直売所では、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得等により取扱商品の充実を継続してほしい。農産物については、売り上げの核となるいちご、ぶどう、桃を加東市ブランドとして更にPRをしていただきたい。

### 3 業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

### 4 サービスの質について

利用者アンケートによると、職員の接客態度・事業内容の評価は良好であった。一方、トイレ数が不足することがあり、改善要望が前年度同様にあがっている。現在、市、兵庫県とも協議してトイレの増設に向けた検討を進めている。引き続き関係機関と連携しながら、改善に向けて協力いただきたい。

トラブルに対して適切に対応できている。例えば、駐車スペースが不足するとき大型トラック等の長時間駐車車両の移動協力依頼や、施設内清掃時に安全管理に努めている。

### 5 収支状況等について

特産館は、新規仕入先の開拓や山田錦を原料とした酒類販売の強化により、対前年度比118.8%の売り上げを達成した。

農産物直売所は、いちご、ぶどう、桃の果物類の売り上げが好調であった。特に桃は近年稀にみる豊作となり、桃の売り上げが増加するなど農産物直売所の売り上げは概ね計画通りとなった。

コンビニは、利益率の高い新商品をより多く陳列する、売り逃しの少ない精度の高い売り場づくり、廃棄率の抑制等に努めた結果、売り上げは対前年度比115.5%と大きく伸ばすことができた。

これらの結果として、新型コロナウイルスの影響が残る中での営業であったが、経常利益14,181千円と黒字を達成した点は高く評価できる。

特産館、農産物直売所では、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得等により取扱商品の充実を継続してほしい。農産物については、売り上げの核となるいちご、ぶどう、桃を加東市ブランドとして更にPRをしていただきたい。